

「テニス」における普及についての考察

テニス専門部 川口北高校 阿部 守

1、はじめに

(財)日本テニス協会(JTA)は、国際テニス連盟(ITF)やアジアテニス連盟に属し、日本体育協会やJOCと密接な関係を持つ団体である。関東など9地域テニス協会をはじめ、都道府県や市町村などの地方自治体協会がJTAを構成する直属のメンバーである。参加団体には、全日本学生連盟や全国高等専門学校体育協会、中体連などがあり、高体連も参加団体の一つである。他にも(社)日本プロテニス協会や(社)日本テニス事業協会、(社)日本車いすテニス協会などの関連団体が多数あり、連携を保ちながら安全活動や競技力強化にあたり、「普及面」でも日々最新の情報をそれぞれが共有できるよう努めている。

2、「PLAY and STAY」…【日本テニス協会HP】から引用



「テニスって難しい・・・」 「コートがない・・・」 「やりたいけど相手が見つからない・・・」
そんな皆様の悩みを解消するツールがTENNIS PLAY&STAYです！！

TENNIS PLAY&STAYとは、通常よりも速度の遅いボール、短いラケット、小さいコートを使用することで誰でも簡単にラリーをすることができ、小さな子供から高齢者の方まで、ラケットを持ったその日からテニスを楽しむことができるプログラムです。テニスは国際的に人気の高いスポーツですが、テニスを始めても途中でやめてしまうケースが多く、その理由の一つとして、とりわけ小さな子供や高齢者にとって難しいスポーツであることが挙げられます。このテニスプログラムの名前TENNIS PLAY&STAYも、幼少期から中高齢者に至るまで誰でも、テニスを始めた瞬間から楽しくゲームを「プレー」でき、そしてテニスを始めた人にとって、テニスが生涯スポーツとして「ステイ」(留まる)ということから由来しています。

始めよう

ラケット・ボール・ネット 用具が揃えばいつでもどこでもテニスがプレーできます！
体育館でも！校庭でも！広場でも！

楽しもう













広すぎないコートで、短いラケットとスピードの遅いボールを使うことで誰でも簡単にラリーができるようになります。
そしてテニスの醍醐味といえばゲーム！ 慣れてきたらゲームを始めよう！
「サーブし、ラリーをして、得点する」ことの面白さを実感してください！！

続けよう

TENNIS PLAY&STAYには3つのステージがあり、成長過程の中でレッド→オレンジ→グリーンといった移行過程を推奨しております。
コートの広さ、ラケットの長さ、ボールの速度を成長に伴い変えていくことで、最終的には通常のコートの広さでイエローボールを使う段階まで到達させることができます！

3、「PLAY and STAY」とは…

このプログラムは、子供や初心者がすぐにテニスの面白さを味わえるよう、ITF(国際テニス連盟)が作成したものだ。これは2007年から始まった国際基準のプログラムであり、日本テニス協会もこれに従ってジュニアの指導などを構築している。次図のように、コートやボールのサイズが異なり、年齢や身長に応じて推奨するラケットのサイズやカテゴリーも指定されている。テニスコート1面分の面積を分割して最大4倍の競技スペースを作れるほか、空き地でも簡易的にコートを作ってプレイできる(簡易ネット:1万円程度)。

| |  STAGE 3 RED |  STAGE 2 ORANGE |  STAGE 1 GREEN |
|---------------|--|--|--|
| 年齢目安 | 3-8歳 | 7-11歳 | 8歳以上 |
| コート |  COURT : 1/4コート |  COURT : 3/4コート |  COURT : フルコート |
| ボール |  直径 : 7.1 ~ 8.0cm 重さ : 36.0 ~ 46.9g 飛び : 75%減 |  直径 : 6.3 ~ 6.5cm 重さ : 40.0 ~ 45.0g 飛び : 50%減 |  直径 : 6.3 ~ 6.5cm 重さ : 47.0 ~ 51.5g 飛び : 25%減 |
| ラケット サイズ目安 |  19~23 inch |  23~26 inch |  25~26+ inch |

prince TENNIS HPから引用

4、埼玉県テニス協会の「普及活動」と、高体連テニス専門部の協力

「県テニス協会(スポーツ総合センター内)」の普及活動は、大きく2点の事業が挙げられる。テニスの日(秋分の日)に行われる「テニスの日 小学生初心者大会」と、11月を中心に開催される「小学生 初級者テニス大会」である。これらの大会には、たくさんの高校生テニス部員が審判運営ボランティアとして参加協力している。

【例：「小学生 初級者テニス大会」協力校】

2018年度

越ヶ谷(男女) 朝霞西(女) 上尾鷹の台(男) 春日部女子(女) 岩槻北陵(男女) 大宮光陵(女) 岩槻(男女) 所沢北(男女) 市立川越(男女) 川口北(男女)

2017年度

越ヶ谷(女) 朝霞西(女) 県立川越(男) 志木(女) 草加東(男女) 県立川口(男) 岩槻(男女) 所沢北(男女) 市立川越(男女) 川口北(男女)

高体連テニス専門部としては「初心者講習会」として、年に数回、高校1年部員に向けた講習会を実施している。更に「審判技術講習会」も県レベルや地区レベルで複数回実施しており、こちらはルールやマナー、審判技術を学ぶものなので、「普及」には欠かせない行事でもある。また、「中高強化練習会」を実施しているが、これは中体連・高体連から選抜された上位選手の練習会であり、「強化」の意味合いが強い。中学校部活等との練習試合を各校レベルで行っていることも、「普及活動」の一助と言えるかもしれない。

5、まとめ

部員確保が急務であるような各部から見れば、部員数も多く恵まれているのがテニス専門部だ。専門部全体の取り組みとして、部員の「人間的資質向上」も目指しているところである。一方、テニス専門部として、独自に一般に向けた普及にあたることは難しい。もちろん、初心者で高校テニス部に入部した生徒には、各校で手厚く指導していることも、普及活動と言えよう。競技への広い普及活動という点では、テニス協会の行事等に協力していくことが、テニス部員として行動を起こしやすい。実際に、県協会の「小学生大会」に参加したことがある、という高校生部員に出会うことも多い。こうした機会を活用し、高校生に「社会」と関わりを持たせることも大切だと考え、本校の部員達にはテニスを通じて様々な体験をしてもらいたいと考え実践している(別紙「川口北高校女子テニス部ボランティア報告」)。

埼玉県高体連テニス専門部は、福元健二委員長(川口北)の下、様々な取り組み・改革を行ってきた。以前「強化」のテーマで発表したように、全国トップレベルの競技実績を遂げ続けている。「優秀なテニスプレイヤーを育てるだけでなく、深く広い人間性を築く」という専門部の大きな目標のためにも、テニスを通じて部員達に様々な経験を積ませることが、巡り巡って「テニス競技の普及」につながるものと考えている。

以上